

## 論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: エコチル調査:概要と最近の知見について

和文タイトル: エコチル調査:概要と最近の知見について

ユニットセンター(UC)等名: 千葉UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: 子どもの健康科学

年: 2020 月: 2 巻: 20 頁: 43961

筆頭著者名: 山本 緑

所属UC名: 千葉UC

目的: エコチル調査の概要と公表済みの調査結果を紹介する

方法: 環境省エコチル調査ホームページで公表された結果、公表済み論文5編の結果を引用した。

結果: 全国調査で得られた結果から、1)出生体重減少、SGA(small-for gestational-age)、早産、2)母親およびパートナーの喫煙状況、3)食生活、育児環境について紹介した。

考察:(研究の限界を含める)  
エコチル調査は環境要因、特に化学物質の曝露や生活環境が胎児期から始まる小児の健康・発達に与える影響を明らかにすることを主眼としているが、そのほかにも多様な要因を把握し、子どもの健康への影響を評価している。このような調査ではさまざまな疾患とその要因についての知見を得ることが期待できるが、成果を得るまでには長い時間を要する。妊娠中および乳児期における生活環境と健康状態についての分析が進められている。

結論: 環境に対して脆弱であり、自分の環境を選ぶことはできない子どもたちのために、よりよい環境をつくることを目指して、多くの人々の協力によりエコチル調査が進められている。さまざまな環境と健康とのかかわりについて研究が行われており、その成果が社会に還元され、活用されていくことが期待される。